

2025年3月期 第2四半期（中間）決算説明会

2024年12月5日

高松機械工業株式会社(証券コード：6155)

TAKAMAZ

目次

- 1 第2四半期（中間）連結決算内容
- 2 今期の見通し
- 3 企業体質の強化に向けての取り組み
- 4 株主還元

以降、参考資料

当資料は、作成時点において一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的に判断した一定の前提に基づいております。経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性がありますので、ご承知おきいただきますようお願いいたします。

■ 全体サマリー

◆ 業績面 ◆

- 全社受注高 **55億64**百万円（前年同期比25.1%減）
- 工作機械事業売上高 **57億2**百万円（前年同期比8.6%減）
- I T 関連製造装置事業売上高 **6億60**百万円（前年同期比5.3%増）
- 自動車部品加工事業売上高 **85**百万円（前年同期比42.3%減）
- 営業利益 **△3億4**百万円（前年同期は△1億53百万円）

◆ 企業体質強化に向けての取り組み ◆

- 営業力強化 **新機種**の発売開始 / **外部表彰**の受賞 / **環境事業**への進出
- 安定利益の確保 **利益向上プロジェクト**始動
- サステナビリティ **太陽光発電設備**の稼働開始
- 新たなる経営戦略 **新中期経営計画**の策定
(企業価値の向上へ)



1 第2四半期（中間）連結決算内容

第2四半期（中間）連結決算の概要

（単位：百万円）

	2023/9		2024/9		対前年同期比	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	増減	比率 (%)
受注高	7,428	-	5,564	-	△1,863	△25.1
売上高	7,013	100.0	6,449	100.0	△564	△8.1
売上原価	5,396	76.9	5,034	78.1	△362	△6.7
売上総利益	1,617	23.1	1,415	21.9	△202	△12.5
販管費	1,771	25.3	1,719	26.7	△51	△2.9
営業利益	△153	△2.2	△ 304	△ 4.7	△151	-
経常利益	△153	△2.2	△ 288	△ 4.5	△135	-
親会社株主に帰属する 中間純利益	△133	△1.9	△ 784	△ 12.2	△651	-

※ 受注高は工作機械事業及び I T 関連製造装置事業の受注高の合計です。
また、工作機械事業の受注高は、旋盤・改造機、部品等の合計です。

- ✓ 工作機械事業では国内市場、特に自動車業界の需要回復が遅れ、受注が鈍化
- ✓ 売上高は受注減少に加え、一部案件で生産計画の遅れが発生したことが影響し減少
- ✓ 当第2四半期にて繰延税金資産を取り崩し、4億21百万円の法人税等調整額を計上

営業利益増減分析

費用の増加（収益の減少）
収益の増加（費用の減少）

(単位：百万円)

マイナス要因 $\Delta 431$

プラス要因 $+ 280$

2023/9
営業利益

2024/9
営業利益

$\Delta 153$

$\Delta 304$

$\Delta 347$

経費減少

$+ 63$

価格改定効果

$+ 217$

売上減少

$\Delta 84$

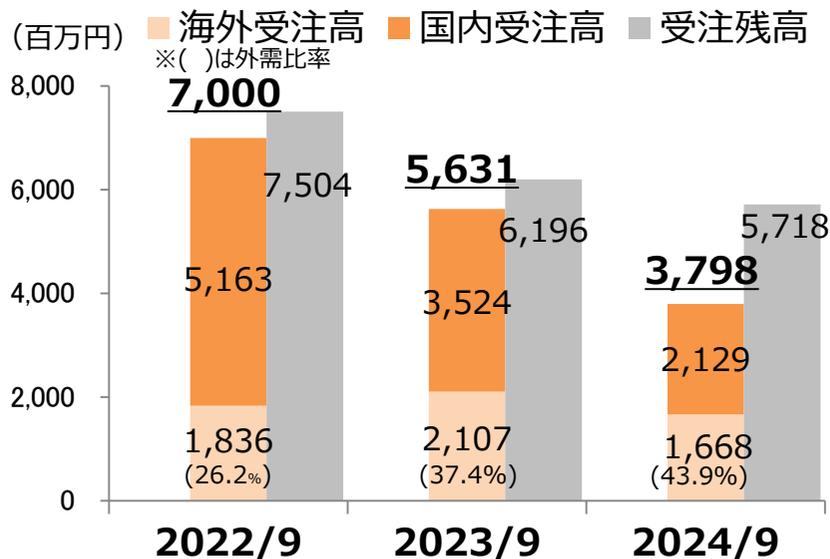
材料費増加

工作機械事業の状況

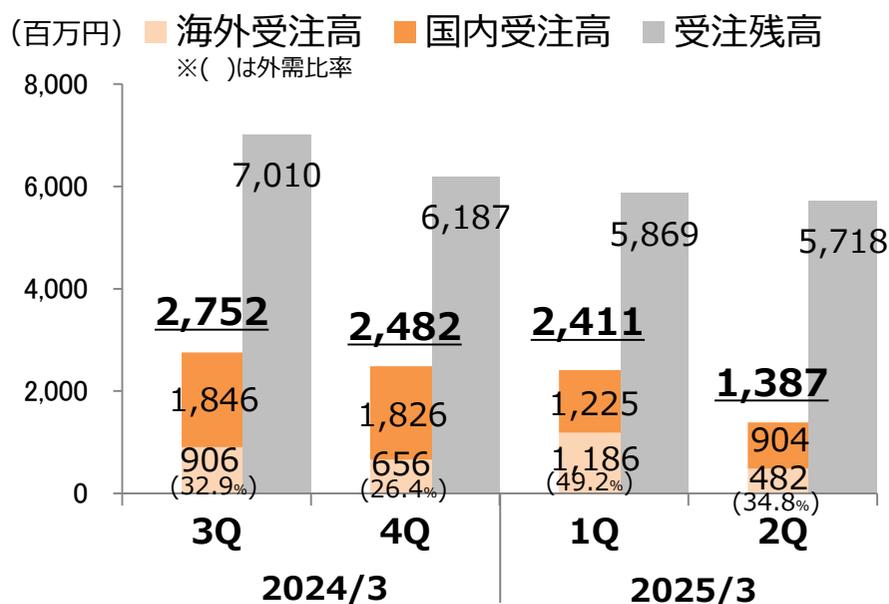
受注高・受注残高の推移

(注) 受注高及び受注残高は、旋盤・改造機に限定しています。

第2四半期（中間）



四半期会計期間



決算のポイント

- ✓ 国内の自動車関連メーカーの設備投資意欲の低迷から受注は減少
- ✓ 海外では1Qにおいてアメリカ向けの受注が増加

取り組み実績

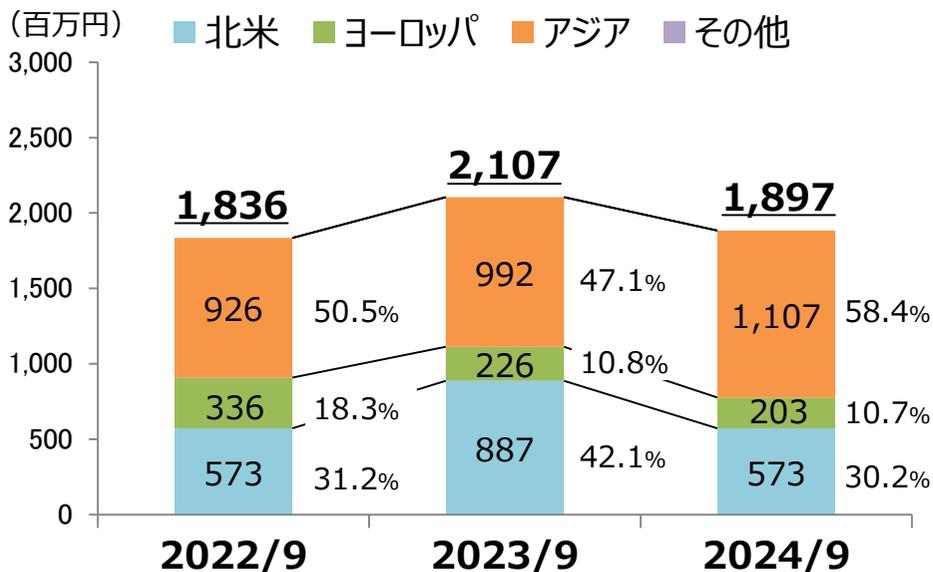
- ✓ ターゲットユーザを絞り込み、顧客ニーズに応える提案営業を強化
- ✓ ニーズの高い【省人化・省エネ化】に対応した新機種の販売を開始

工作機械事業の状況

海外受注高の推移

(注) 受注高及び受注残高は、旋盤・改造機に限定しています。

地域別



主要な国別

(単位:百万円)

	2022/9	2023/9	2024/9
アメリカ	476 (+26.2%)	824 (+73.3%)	482 (△41.5%)
タイ	241 (△29.5%)	402 (+66.3%)	631 (+57.0%)
中国	284 (△54.3%)	73 (△74.2%)	203 (+177.2%)
ドイツ	296 (+21.0%)	226 (△23.5%)	152 (△32.5%)
ベトナム	176 (△43.6%)	393 (+123.0%)	85 (△78.3%)

※ %表示は対前年同期増減率

決算のポイント

- ✓ 前年同期のアメリカ向け受注増加は、日系自動車関連メーカーの大型スポット受注が影響
- ✓ タイでは、自動車関連メーカー向け販売強化により受注拡大
- ✓ ヨーロッパでは、自動車向け需要の鈍化に伴う低迷が継続

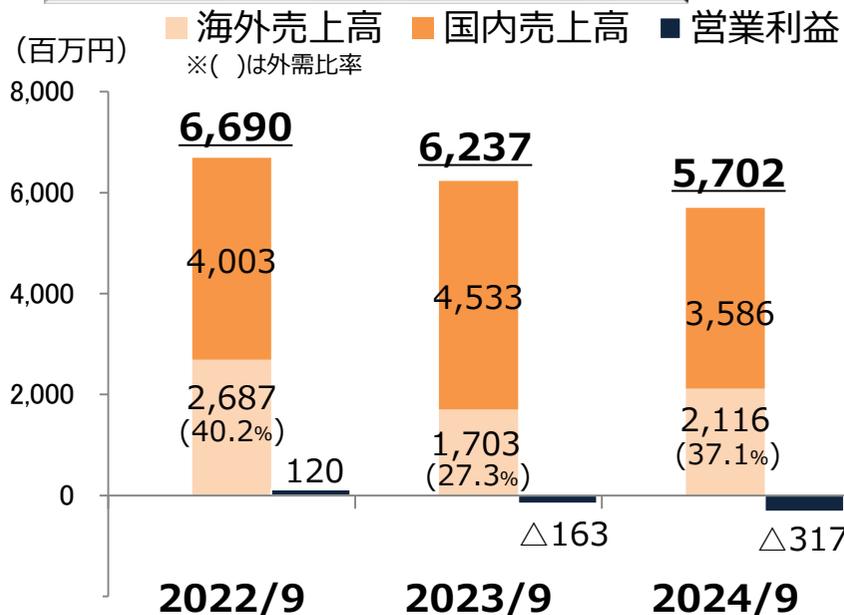
取り組み実績

- ✓ 国内外一体となった営業戦略の策定・実行と販売網の整備
⇒ 新規ディーラの開拓4社 (アメリカ、中国、タイ、ベトナム)

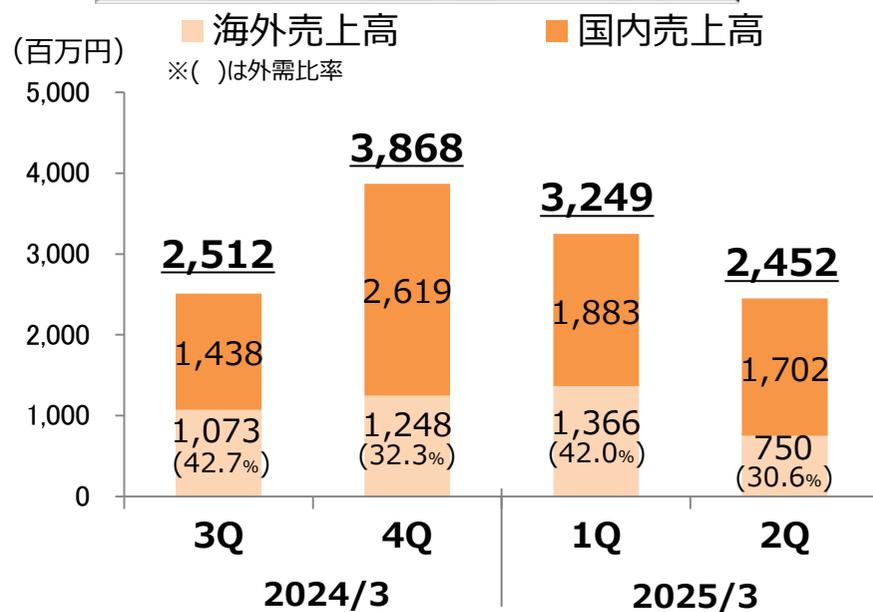
■ 工作機械事業の状況

売上高・営業利益の推移

第2四半期（中間）



四半期会計期間



決算のポイント

- ✓ 需要の低迷、顧客ニーズの多様化による生産計画の遅延などから、売上減少
- ✓ 販売数量減少に伴う営業損失の拡大

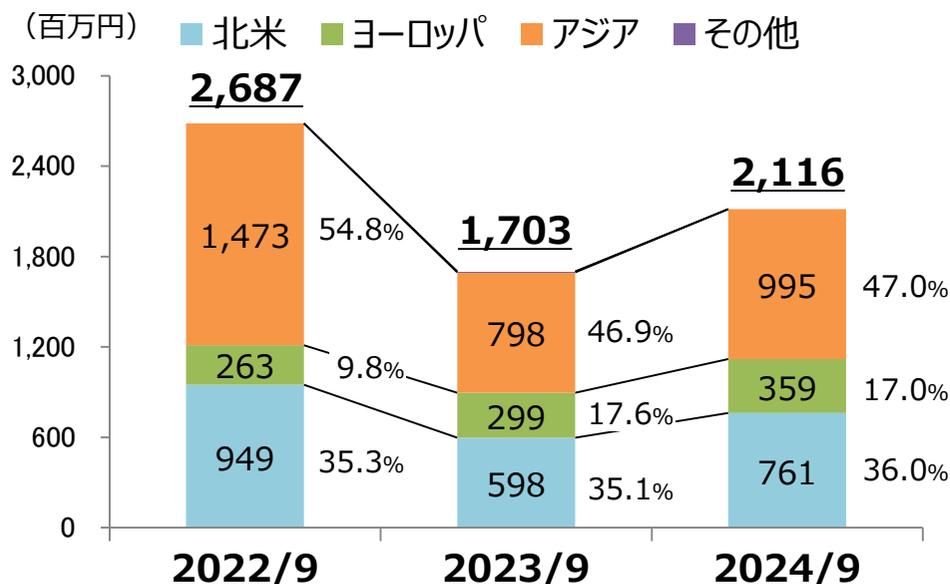
取り組み実績

- ✓ 原材料費を中心とした生産コストの見直しを推進
- ✓ 【タカマツ利益向上プロジェクト】による抜本的な利益向上策の検討・実施

■ 工作機械事業の状況

海外売上高の推移

地域別



主要な国別

(単位:百万円)

	2022/9	2023/9	2024/9
アメリカ	911 (+184.7%)	448 (△50.8%)	729 (+62.5%)
タイ	335 (△26.5%)	321 (△4.1%)	391 (+21.6%)
中国	581 (△11.4%)	210 (△63.7%)	226 (+7.3%)
ドイツ	11 (△94.9%)	153 (+1,187.4%)	137 (△10.2%)
ベトナム	104 (△42.7%)	14 (△86.4%)	197 (+1,295.1%)

※ %表示は対前年同期増減率

決算のポイント

- ✓ アメリカでは、ハイブリッド車向けの需要が拡大
- ✓ タイでは、主に日系自動車メーカー及び部品メーカーとの取引伸長
- ✓ ヨーロッパ及び中国では、設備投資需要がまだ低迷

取り組み実績

- ✓ 日系メーカーの海外投資案件に対し、国内拠点と海外拠点の連携強化による一体的対応
- ✓ 各国のマーケット分析を強化し、営業戦略の策定と実施

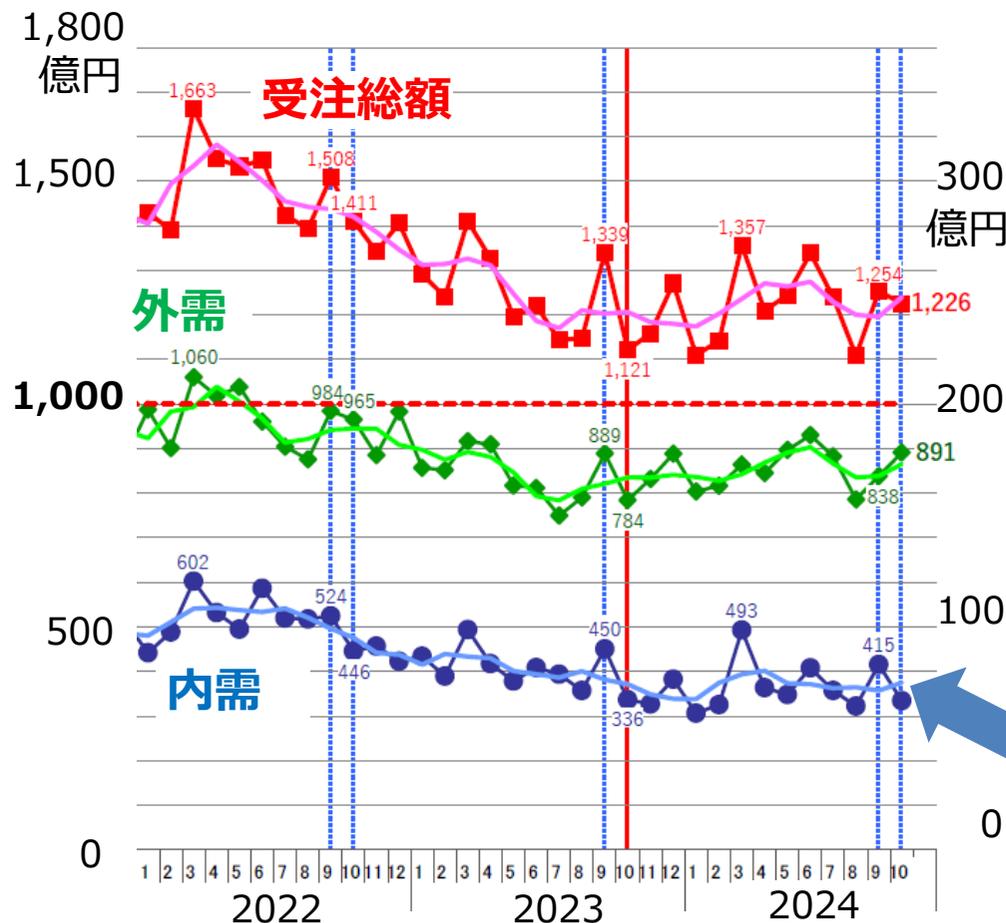
2

今期の見通し

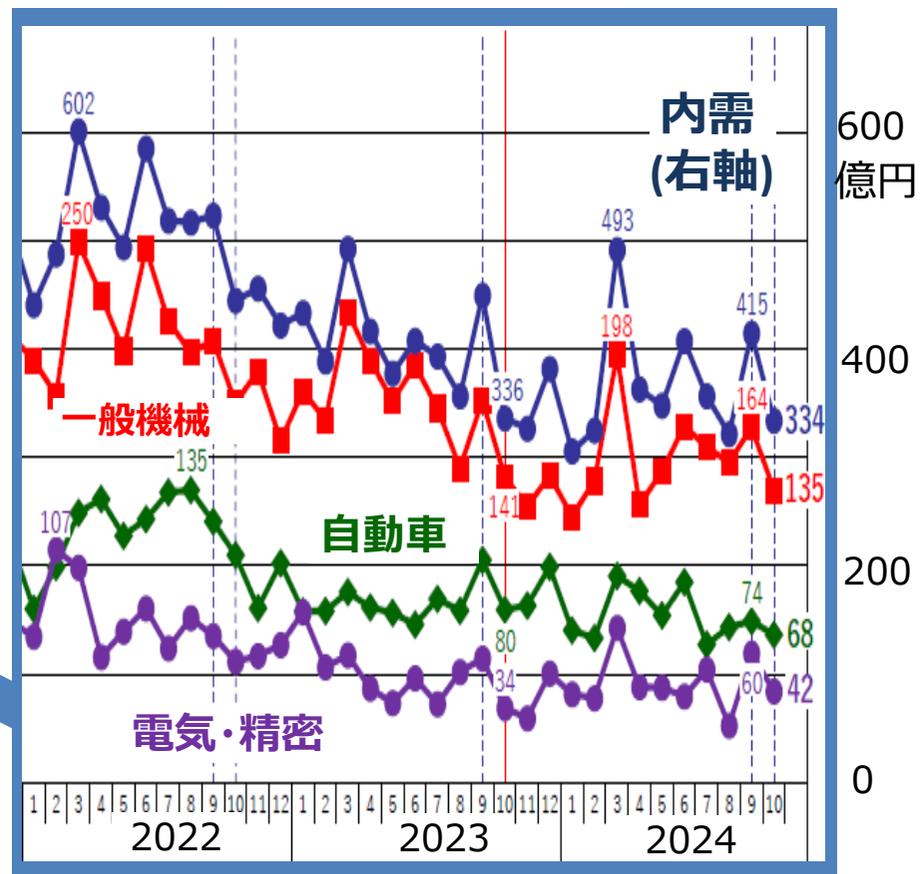
工作機械業界の動向

(出典：日本工作機械工業会)

業界受注額の月別推移



【詳細】 内需の月別推移



- 季節要因による増減はみられるが、全般的にやや力強さに欠ける状況が継続
- 内需自動車の本格回復が期待外れに終わったが、年明け以降の商談増加を期待

業績予想

(単位：百万円)

	2024/3 実績	2025/3			
		年初予想	10/31 修正予想	対前期比	年初予想比
受注高	14,452	17,410	13,070	△9.6%	△24.9%
売上高	14,184	16,436	13,439	△5.3%	△18.2%
工作機械事業	12,618	14,840	11,790	△6.6%	△20.6%
I T 関連製造装置事業	1,283	1,400	1,460	+13.8%	+4.3%
自動車部品加工事業	282	196	187	△33.5%	△4.1%
営業利益	△386	474	△ 392	—	—
工作機械事業	△414	391	△ 479	—	—
I T 関連製造装置事業	60	107	83	+39.0%	△21.6%
自動車部品加工事業	△19	△24	3	—	—
営業利益率	△2.7%	2.9%	△ 2.9%	—	—
経常利益	△608	336	△ 450	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	△565	169	△ 963	—	—
1株当たり当期純利益（円）	△52.26	15.74	△ 89.49	—	—

※ 受注高は工作機械事業及び I T 関連製造装置事業の受注高の合計です。
 工作機械事業の受注高は、旋盤・改造機、部品等の合計です。

■ 業績予想

下期における取り組み

- ✓ JIMTOF2024の出展を最大限に活かした販売活動の実践
- ✓ 顧客ニーズの早期把握による精緻な生産計画の策定と実現
- ✓ 全社的な部品調達、社内供給体制の見直し
- ✓ IT関連製造装置事業や新規事業の伸長のための営業強化

▶▶▶▶ **「利益重視」**の施策を確実に実行して、成果を上げる！

3 企業体質の強化に向けての取り組み

■ 企業体質の強化に向けての取り組み

1. 新機種「XTL-8MY」の販売開始！

- 日本国際工作機械見本市（JIMTOF2024）出展！

2. 新製品が続々外部受賞へ！

- 「XWG-3」、「XWT-8」、「XTs-6」が受賞の栄誉に！

3. 「AI・B-sort」の販売促進！

- 新規受注決定！自治体やリサイクル事業者からの引合も順調に増加中！

4. タカマツ利益向上プロジェクト進行中！

- 当社初のプロジェクト！中堅・若手社員中心に従来と違う目線で利益向上！

5. あさひ工場での太陽光発電開始！

- 昨年度の本社工場での導入に引き続き、あさひ工場でも稼働開始！

6. 新中期経営計画策定

- 持続的な企業価値向上をはかるため、様々な視点で議論！

1. 新機種「XTL-8MY」の販売開始！

11月開催のJIMTOF2024において、**新機種「XTL-8MY」**を展示・発表し、販売開始！



XTL-8MY

XTL-8MY とは・・・

長い部品の加工に優れたXTL-8シリーズにおける、待望の第二弾。

回転工具や、追加の加工軸を標準搭載しており、1台で複数の工程が可能。

「工程集約」の新たな代表機種

JIMTOF2024で、「切削デモンストレーション」を実施。多くの来場者が、加工精度や、スピードをその目で確認。



切削デモンストレーションの様子



XTL-8MYで加工された金属部品

2. 新製品が続々外部受賞へ！



2022年から2024年にかけて販売開始した新製品 3 種類が表彰されました！



機種名：XWG-3（2022年4月 販売開始）
表彰：第54回 機械工業デザイン賞IDEA
「日本デザイン学会賞」
受賞日：2024年7月31日



機種名：XWT-8（2023年11月 販売開始）
表彰：精密工学会ものづくり賞「優秀賞」
受賞日：2024年9月5日



機種名：XTs-6（2022年4月 販売開始）
表彰：いしかわエコデザイン2024「銀賞」
受賞日：2024年10月10日

3. 「AI・B-sort」の販売促進！

日本全国の様々な自治体やリサイクル事業者から数多くの引合！

資源ごみAI自動選別機とは

- ✓ ビンの色選別を自動化する機械
- ✓ リサイクル業界の人手不足を解消
- ✓ ビンのリサイクルを推進し、SDGs達成に貢献
- ✓ 株式会社PFUと当社の技術を融合



市場規模
130億円
※2035年

国内ターゲット
3,000施設以上

TOPICS!

地方新聞等、11紙にて「AI・B-sort」に関する記事が掲載されるなど、徐々に認知度が向上！

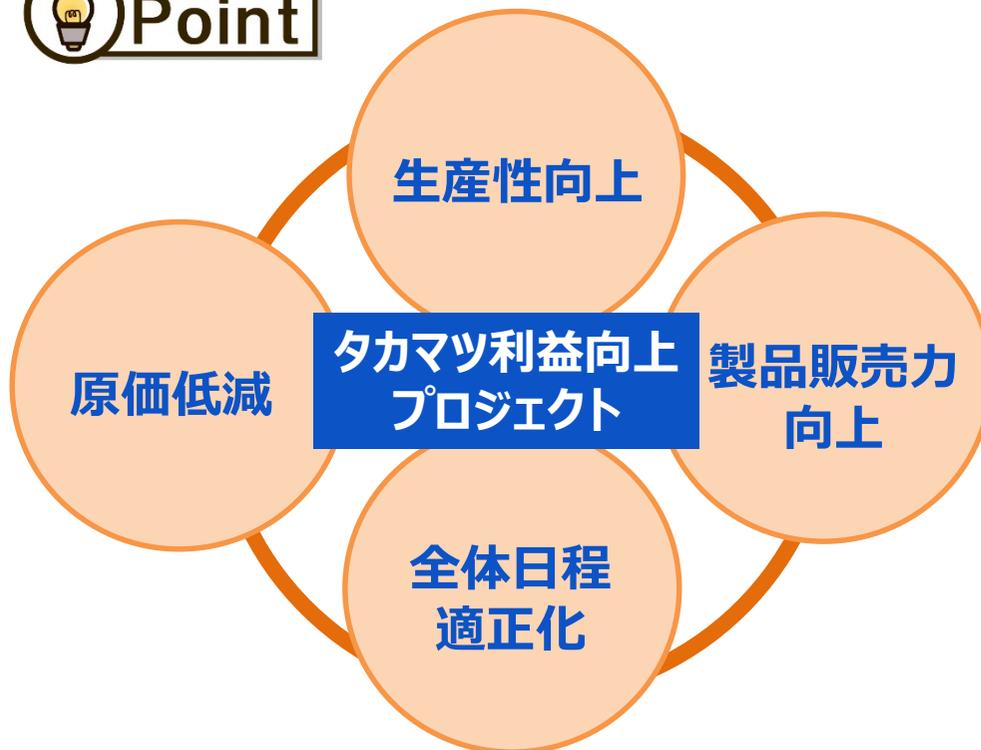
- 「手を動かして多量のビンを仕分ける大変な作業」
- 「職員も高齢化しており、新規採用も容易ではない」

⇒ 現状改善への大きな期待

4. タカマツ利益向上プロジェクト進行中！

工作機械事業本部全体で、『利益向上』に真正面から取り組む！

- ・ 生販両面の視点で、利益を生み出す新プロジェクト
⇒ 受注から販売まで一気通貫で効率化
- ・ 生産、営業に携わる中堅・若手社員が中心となったチーム



【生産性向上】

- ・ ムダの排除

【原価低減】

- ・ 調達、設計、生産など、幅広く実施

【製品販売力向上】

- ・ オプション仕様の適切な価格設定

【全体日程最適化】

- ・ 計画未達要因追求、適正な対策

5. あさひ工場での太陽光発電開始！

当社旗艦工場である「あさひ工場」に屋上設置型の太陽光発電設備を導入し、10/1より稼働を開始しました！



あさひ工場上空写真



本社工場のカーポート型太陽光パネル

【あさひ工場 太陽光発電の効果見込み】

- ・ 工場必要電力量の約25%をカバー
- ・ 年間 約174トンのCO₂排出量を削減

【本社工場 太陽光発電の効果実績】

- ・ 工場必要電力量の約15%をカバー
- ・ 年間 約380トンのCO₂排出量を削減

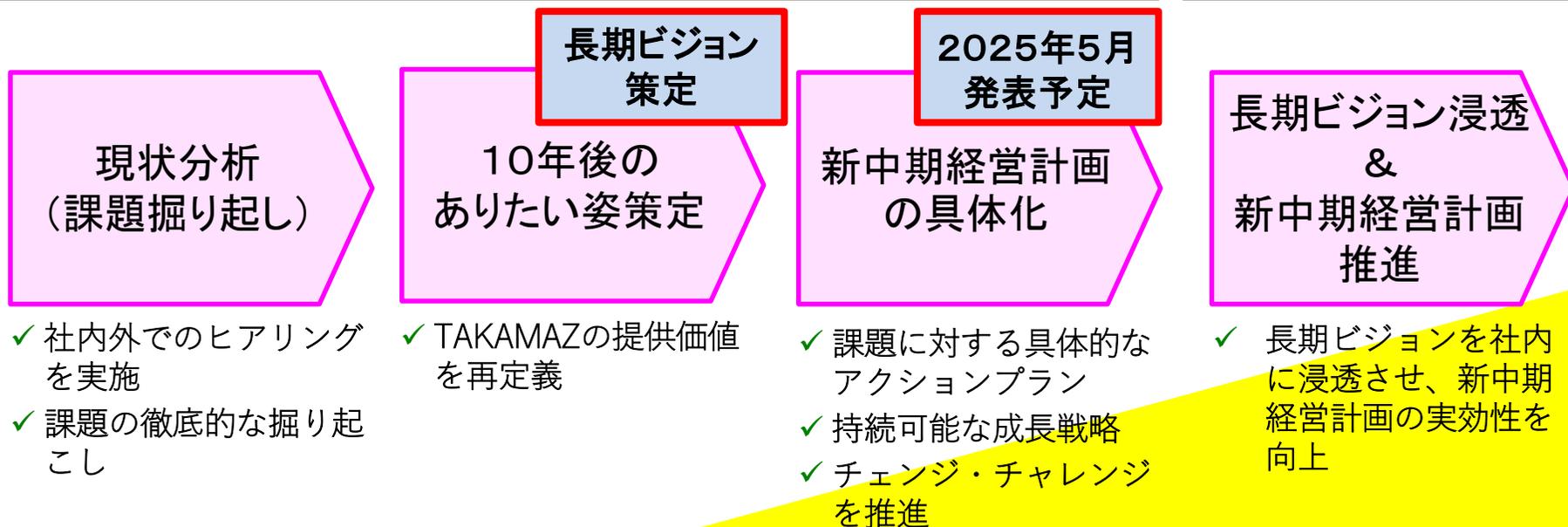
年間 約554トンのCO₂排出量削減！

6. 新中期経営計画策定

- ✓ 10年後のありたい姿（長期ビジョン）を明確にし、その将来像からバックキャストイングして中期経営計画を策定する。
- ✓ 環境変化のスピードが早まっているなか、今ある課題に対応しつつ、10年という中長期的視点で経営を考えていくことで、持続的な事業成長の実現を目指す。

策定フェーズ

実行フェーズ



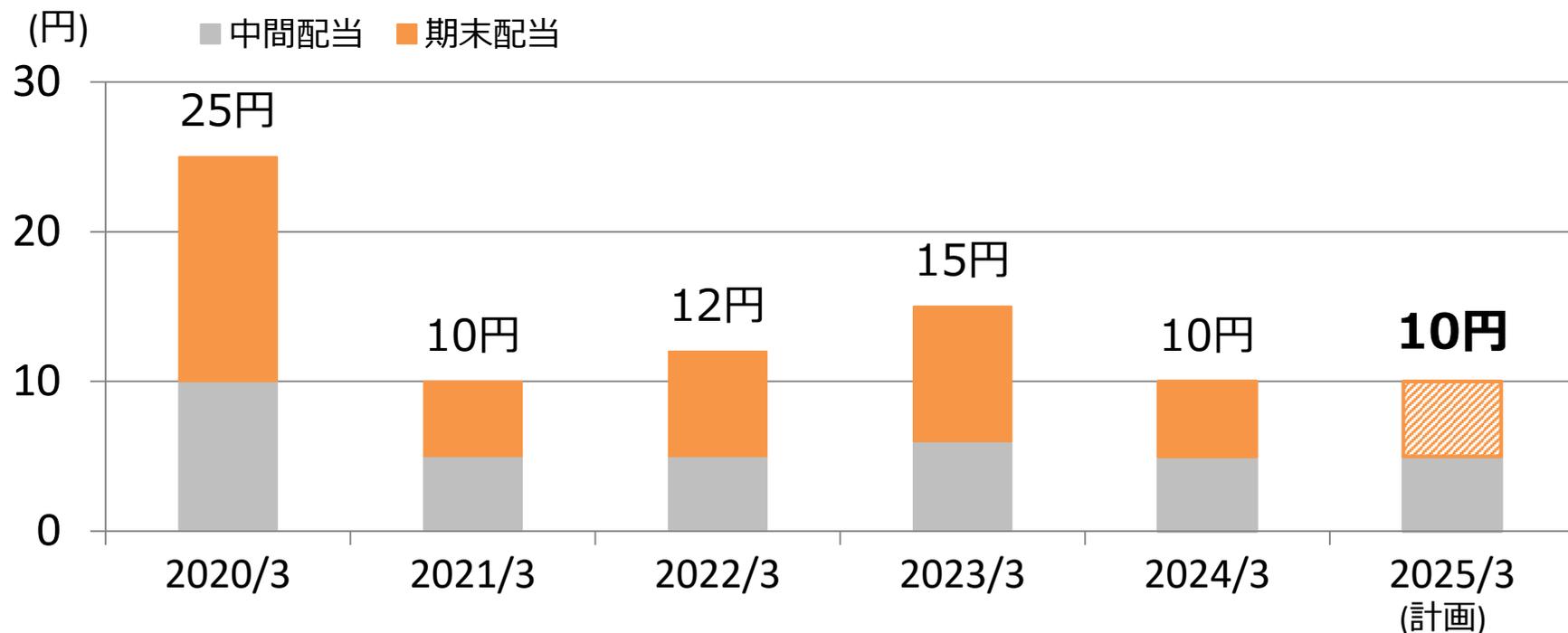
これまでにない新しいチャレンジも進め、
持続的な成長と企業価値向上を実現！

4

株主還元

株主還元

- ◆株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つと位置付け、安定的な配当水準を維持
- ◆将来の利益の成長及び企業価値の向上に資する事業投資に充当するため、必要な内部留保を行う



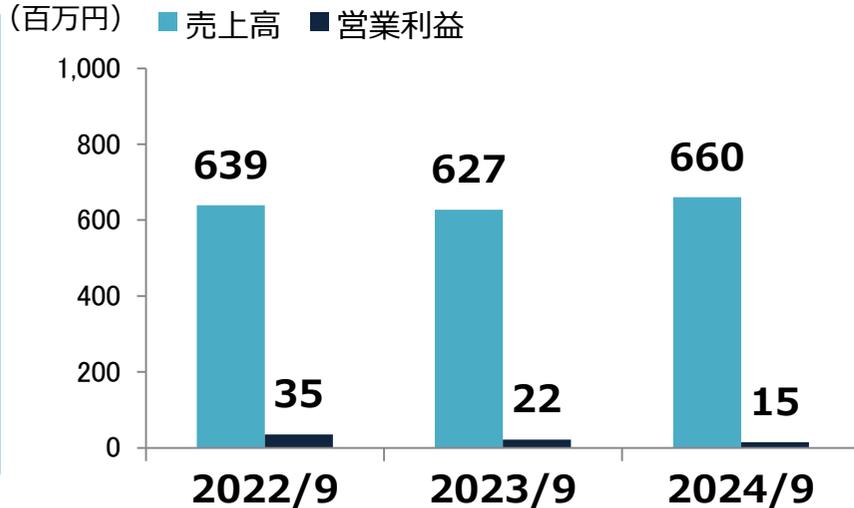
參考資料

I T 関連製造装置事業・自動車部品加工事業の状況

売上高・営業利益の推移

第2四半期（中間）

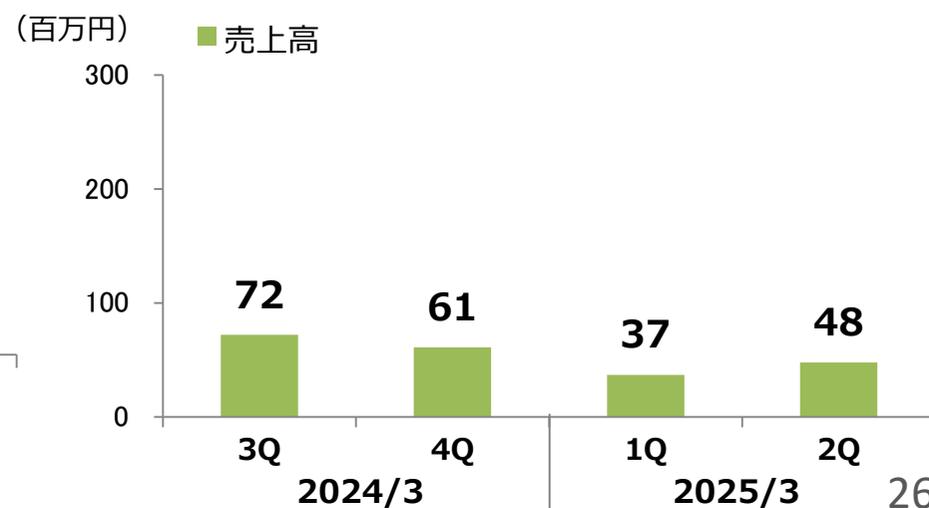
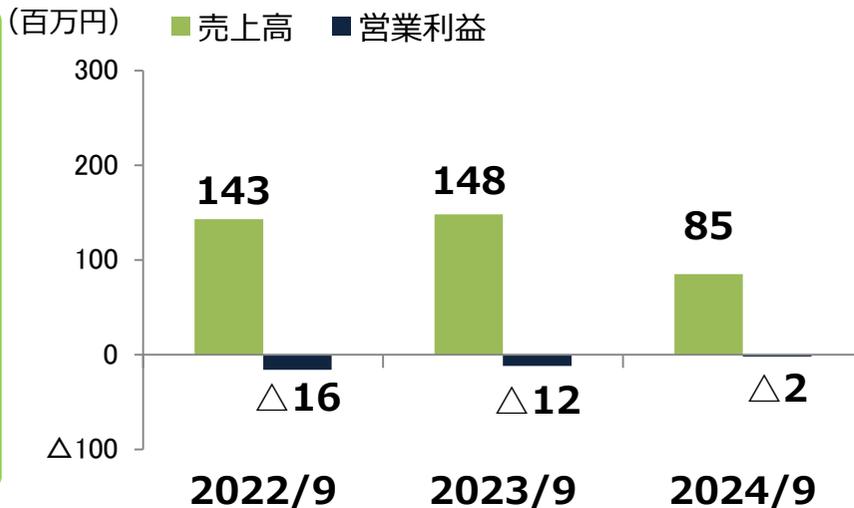
I T 関連製造装置事業



四半期会計期間



自動車部品加工事業

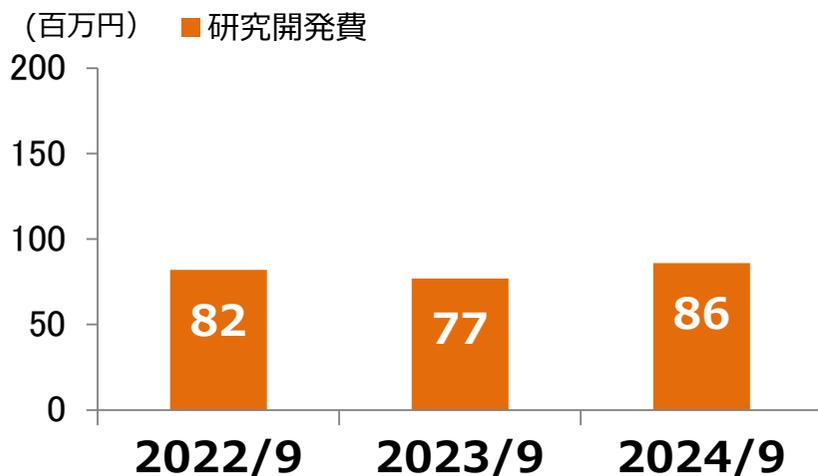
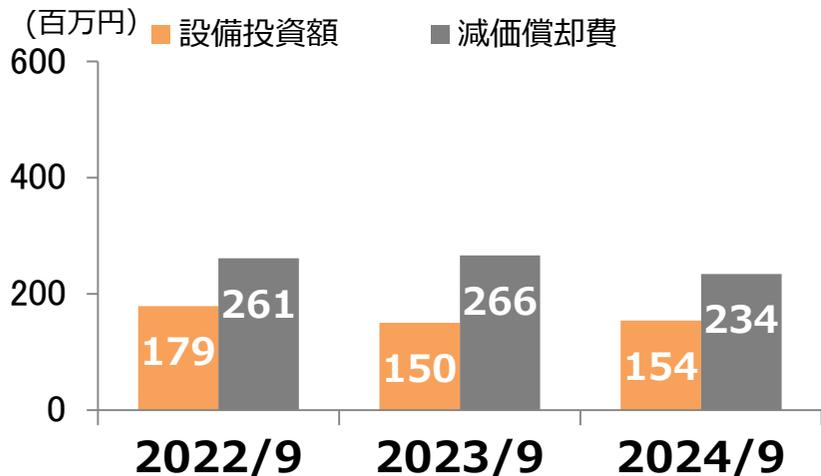


設備投資額・減価償却費・研究開発費

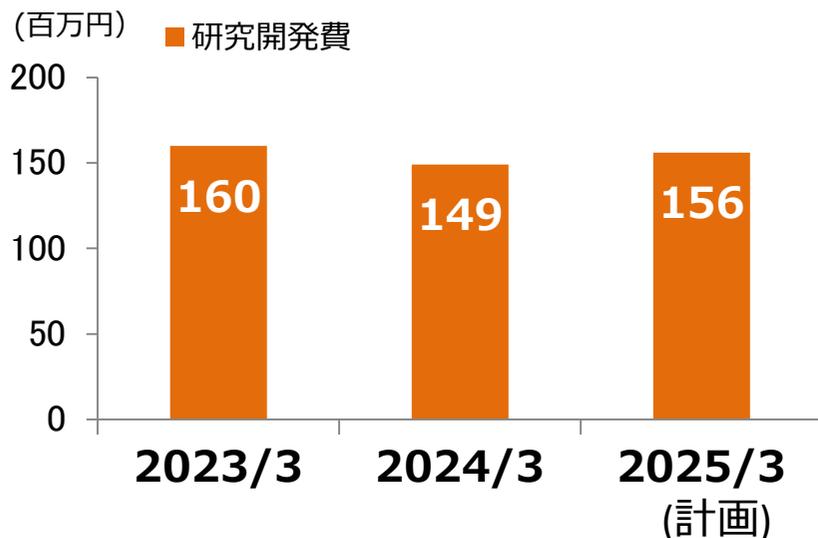
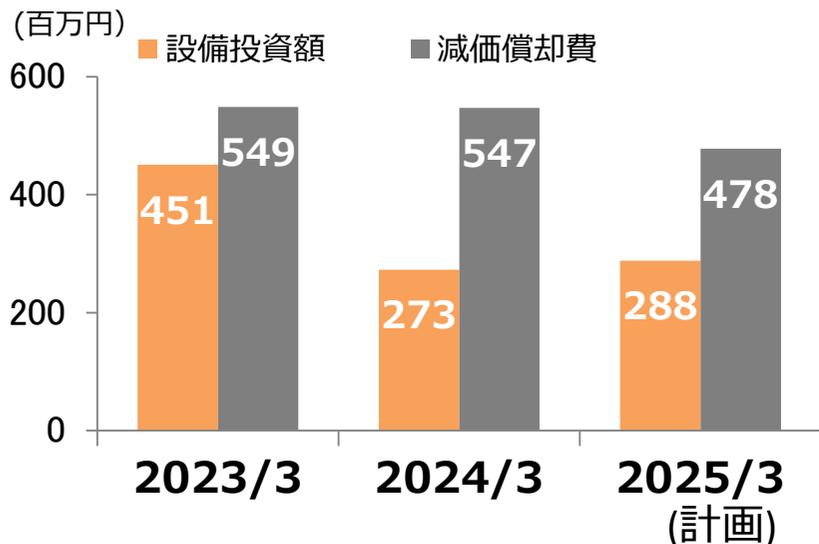
設備投資額・減価償却費

研究開発費

第2四半期
(中間)

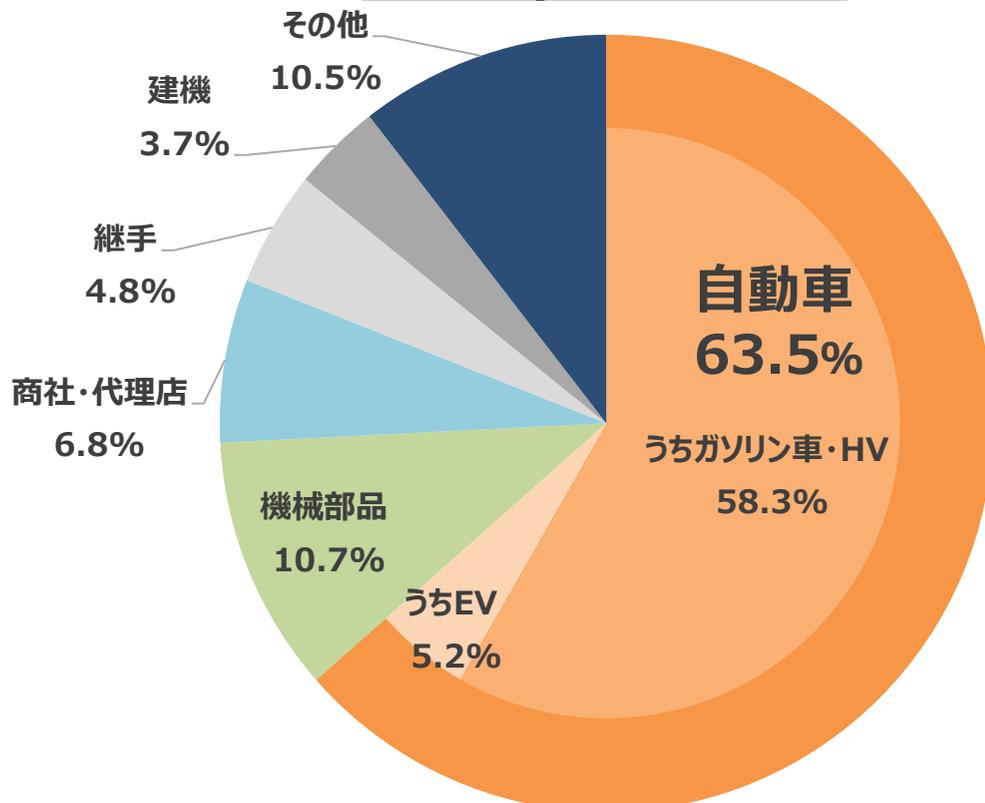


通期



業種別受注先の状況

2024/9 構成比



(注) 受注高は、旋盤・改造機に限定しています。

直近の主な受注先

自動車業界	・ TOYOTA	・ HONDA	・ DENSO
	・ 津田工業	・ ジェイテクト	・ 日立アステモ
自動車業界以外	・ SMC	・ クボタ	・ スナップオン

会社概要



会社名	高松機械工業株式会社
設立年月日	1961年7月1日
所在地	石川県白山市旭丘1-8
資本金	18億35百万円
発行済株式総数	1,102万株
正社員数	連結：556名 単体：497名（2024年9月末現在）
上場取引所	東京証券取引所スタンダード市場（証券コード 6155）

事業内容

工作機械事業
(126億18百万円)

事業内容

- CNC旋盤、周辺装置の製造、販売、サービス・メンテナンス



- コレットチャックの製造、販売



生産拠点

本社工場

あさひ工場



他 第2工場、第4工場

IT関連製造
装置事業
(12億83百万円)

事業内容

液晶基板や半導体などに関する製造装置の製造

生産拠点

開発センター



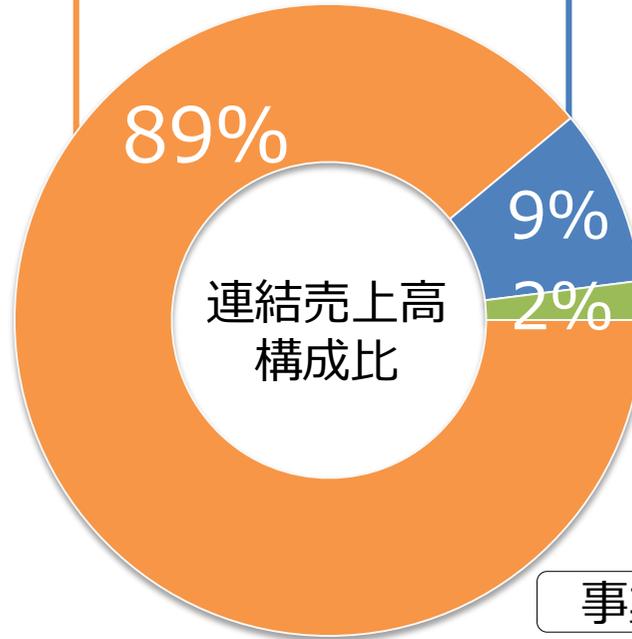
自動車部品
加工事業
(2億82百万円)

事業内容

自社製旋盤による
自動車部品の加工

生産拠点

第3工場



※売上高及び売上高構成比は2024年3月期の数値です。

■ 営業拠点・グループ会社

国内営業拠点：9か所

関東、大阪、名古屋、
浜松、厚木、東北、
北陸、信越、広島

国内グループ会社：1社

- FTJ

海外グループ会社：8社

- TMU (アメリカ)
- TME (ドイツ)
- TMT (タイ)
- 喜志高松 (中国)
- 友嘉高松 (中国)
- PTTI (インドネシア)
- TMVN (ベトナム)
- TMMX (メキシコ)

国内では、自動車産業が盛んな地域での営業拠点の開設
海外では、ユーザの海外進出に対応すべくグループ会社の設立



迅速かつ適切なサービス・メンテナンスの提供

当社製品による加工例

当社製品による加工例

✓ 高品質が要求される、小さく丸い部品を加工

自動車関係（EV含む）（例）



ギヤ関係部品



足回り関係部品

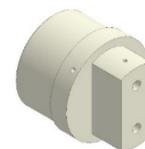


モータ関係部品

その他（例）



エレベータードア部品



照明機器用部品



シャワー用部品

加工した部品の使用例

- 自動車
- 建設機械
- 航空機関連
- バイク
- 建材・設備機器
- 医療機器
- 家電製品

**主力受注先の自動車業界以外の分野の
新規開拓にも注力**



自動化技術

豊富なノウハウと自動化装置群

- 早くから自動化に取り組み、実績を積み上げ
- 自動化技術を組み合わせ、お客様に最適の生産ラインを提供

設計～製造まで一貫した生産体制

- 自動化装置・システムを自社で開発



お客様仕様の生産ライン

当社CNC旋盤



自動化装置群

多様な製品ラインナップ

ユーザーニーズに応える製品開発

高精度・高品質を維持しつつ生産性の向上を実現

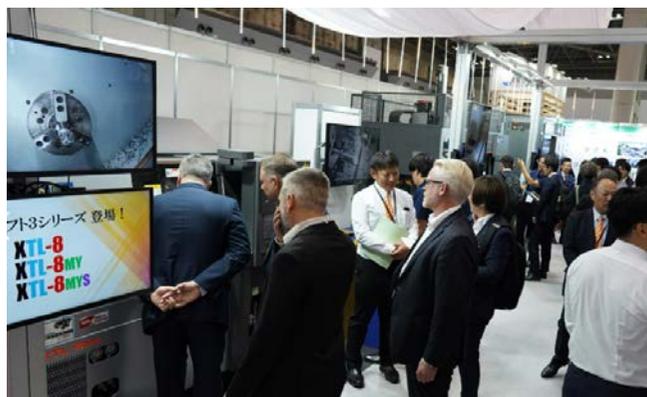
省エネ・省スペース

環境負荷の低減

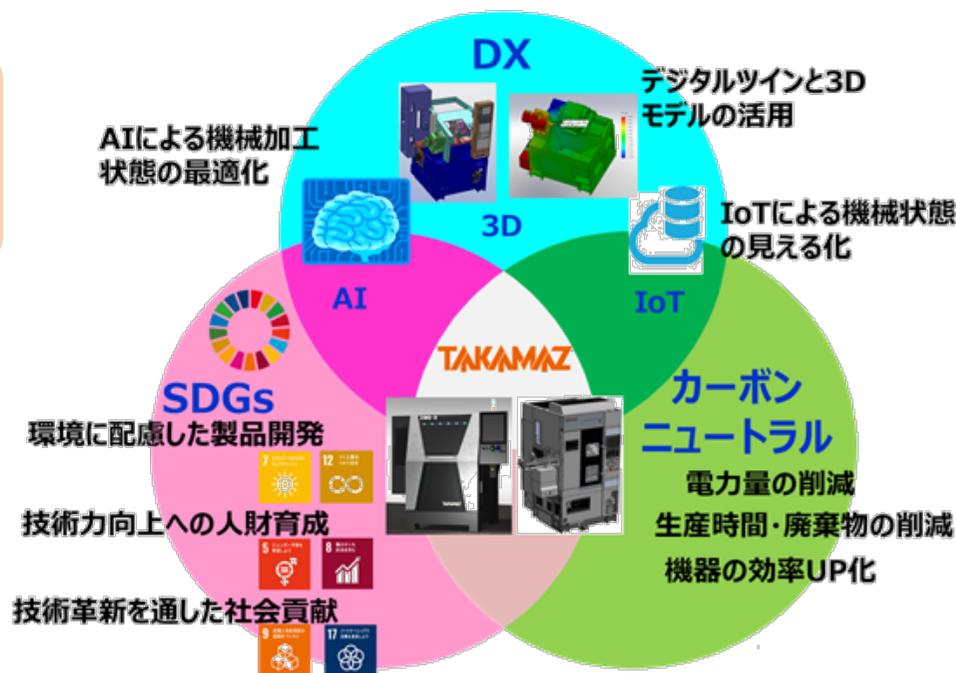
機能を特化した
戦略機種

新製品開発の取り組み

「DX」・「SDGs」・「カーボンニュートラル」の
3つのキーワードで
新製品開発を進めています。



JIMTOF2024で注目の製品を多数展示



投資家・株主の皆様への情報発信

HP

TAKAMAZ

検索



<https://www.takamaz.co.jp/>

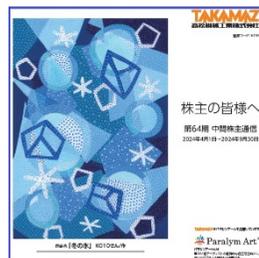
● トップページ



● 株主・投資家情報ページ



刊行物



株主通信

決算説明会資料

2025年度 3 月期
第 2 四半期（中間）決算説明会

2024年12月1日
高松機械工業株式会社(株主コード：6155)
TAKAMAZ



サステナビリティ レポート

ORANGE NEWS



SNS



TAKAMAZ

<https://www.takamaz.co.jp>

